

A 会場

火山教育・火山防災(1)
座長: 田鍋敏也, 小山真人

13:00-13:15

A01 有珠火山 - エコミュージアムの試み -
田鍋敏也・三松三朗・土門秀樹

13:15-13:30

A02 危機管理の視点から見た火山噴火災害の社会対応の比較
- 1986 伊豆大島, 1990 雲仙普賢岳, 1997 岩手山危機,
2000 有珠山 -
中橋徹也・小山真人

13:30-13:45

A03 現行の火山防災用語に潜む伝達技術上の問題
小山真人

13:45-14:00

A04 2000 年有珠山噴火の終息期および復興期における科学
者の助言活動
岡田 弘

14:00-14:15

A05 鳥海山南麓地域の火山防災意識に関する住民アンケート
解析
鴨志田毅・伊藤英之・内柴良和・林信太郎・阿部貞二

14:15-14:30

A06 アンケート調査による焼岳および鳥海山南麓周辺住民の
防災意識の比較
伊藤英之・鴨志田毅・林信太郎

休 憩 14:30-14:45

A 会場

火山教育・火山防災(2)
座長: 林信太郎, 伊藤英之

14:45-15:00

A07 「磐梯山に強くなる本」と火山防災教育
佐藤 公・中村洋一・中禮正明

15:00-15:15

A08 中学校理科教科書火山分野に関する研究 - 日本人の火山
知識のペースを探る
林信太郎・伊藤英之・毛利春治・吉本充宏

15:15-15:30

A09 東北日本弧, 活火山のホームページ作成
藤縄明彦・工藤 崇

15:30-15:45

A10 浅間北麓のペンション経営者グループと共同で実施して
いる「明るく楽しい浅間山学習会」
早川由紀夫

ポスタージュニアセッション

コアタイム 12:00-13:30
私たちの火山研究

- S01 札幌の火山
滝沢 将・細川 愛・川村侑加・谷川卓也・森山貴之
(北海道石狩翔陽高等学校)
- S02 石狩低地南部の Spfa-1・En-a 間のローム層密度変化
金川和人・東田一成・武田大士
(北海道厚真高等学校)
- S03 函館市東山の段丘にふりつもった火山灰を追う
遺愛女子中学校 2 年 A 組・B 組
理科第 2 分野地学受講者一同
(遺愛女子中学高等学校)
- S04 氷の融解速度を利用した簡便な地熱観測
- 有珠山西山火口周辺噴気地からの放熱率推定 -
梅本真史・永峰賢一・梅原宏之・寺田暁彦
(北海道札幌開成高等学校)
- S05 有珠火山の地磁気 - 簡易偏角・伏角測量 -
小野構大・荻原弘堯・梅原宏之・橋本武志
(北海道札幌開成高等学校)

15:45-16:00

A11 萩の火山と星 こどもサマースクール：成果と今後の課題
福田靖子・永尾隆志・樋口尚樹・中原憲明

16:00-16:15

A12 火山学のアウトリーチと防災教育

鎌田浩毅

10月5日(水) ポスターセッション (P1~P6, S06~S13)

ポスター会場 コアタイム 16:30~17:30

- P01 樽前山周辺の防災力向上に関する啓発プログラム
宇井忠英・新谷 融・松尾一郎・渡邊晶子・竹下正哲・加村邦茂・樽前山環境防災教育検討会・箱崎岩男・吉田貴之
- P02 ハザードマップは有効に読み取られているか(その2)
- 富士山火山防災マップの平面図版と鳥瞰図版の比較 -
望月麻紗樹・村越真・小山真人
- P03 火山および火山防災用語に対する住民と行政担当者の意識 - 栃木・神奈川・静岡・山梨県内での 2004-05 年調査結果 -
柴田ふみ・小山真人
- P04 荻博物館での火山の展示
永尾隆志・福田靖子・樋口尚樹・山口廣喜・高山裕明・倉塚恭子・齋藤 豊・浜武加奈子
- P05 VIVA2000 (Web を用いたリアルタイム火山情報可視化システム) の開発・運用
五味新一郎・藤田英輔・鶴川元雄
- P06 岩手火山データベース - 岩手火山地質図電子版 (CD-ROM 出版物) -
伊藤順一・土井宣夫・星住英夫・岸本清行・工藤 崇

わが町の火山防災

- S06 雌阿寒岳の火山防災の取り組みについて
佐藤正寿 (阿寒町)
- S07 美瑛町における十勝岳火山災害対策と今後の課題
阿部泰則 (美瑛町)
- S08 上富良野町少年消防クラブを通しての火災・防災教育の取り組み
谷口 繁・梅津英嗣 (上川南部消防)
- S09 千歳市における樽前山火山噴火に対する取り組み
土居弘志 (千歳市)
- S10 苫小牧市の樽前山噴火に備えての取組
藤野正則・西野弘志 (苫小牧市)
- S11 有珠山噴火の再来に備えた壮瞥町の取組
三松三郎 (三松記念館)・田鍋敏也・土門秀樹 (壮瞥町)
- S12 駒ヶ岳火山防災会議協議会及び啓発事業の歩み
中西 清・佐藤邦夫・谷口正美・横山太一 (森町：駒ヶ岳火山防災会議協議会事務局)
- S13 七飯町・鹿部町における「北海道駒ヶ岳火山噴火災害防
災訓練」実施について
竹田博正・中村雄司 (七飯町)
板坂新一・佐藤和雄 (鹿部町)

10月6日(木) 午前

A 会場

火山の地質・噴火年代(1)
座長：古川竜太，後藤芳彦

09:00-09:15

A13 北海道東部太平洋沿岸域における完新世の降下火砕堆積物
古川竜太・七山 太・重野聖之

B 会場

火山活動・火山観測
座長：北川貞之，大倉敬宏

9:00-9:15

B01 樽前山における 1999~2000 年の火山活動 - GPS，地磁気，温度観測データに見られた同期した変動
北川貞之・福井敬一・中禮正明・山本哲也・高木朗充・坂井孝行・藤原健治・宮村淳一・高橋裕二・佐藤十一・谷口貴康

09:15-09:30

A14 北海道知床半島天頂山火山の噴火年代
後藤芳彦・沢田惇史・横山 由・合知信生・
佐々木寿・中川光弘

09:30-09:45

A15 重力異常から考察する阿寒カルデラの地下構造と形成過程
長谷川健・神山裕幸・山本明彦・中川光弘

09:45-10:00

A16 有珠火山, 1853年噴火
堺幾久子・小林哲夫

10:00-10:15

A17 北海道奥尻島, 勝淵山火山の噴出物と構造
鹿野和彦・吉村洋平・石山大三・G.J.Orton・大口健志

10:15-10:30

A18 火山岩から推定される東北日本弧のマントル構造・東北日本仙岩地域の火山岩の空間変化
上木賢太・岩森 光

休 憩 10:30-10:45

A 会場

火山の地質・噴火年代(2)

座長: 宮縁育夫, 安井真也

10:45-11:00

A19 浅間前掛火山上舞台溶岩は溶岩か?
高橋正樹・土橋広宣・安井真也

11:00-11:15

A20 北八ヶ岳火山東麓地域の前期更新世火山岩類の層序(その2) - 八柱山周辺の火山層序について -
西来邦章

11:15-11:30

A21 沈み込み帯火山の初期含水量とテクトニクスとの関係
荻津 達

11:30-11:45

A22 磁気岩石学的解析による雲仙火山、平成溶岩ドームの噴出プロセス: 外成ドームと内成ドームの違い
齋藤武士・石川尚人・杉本 健・鎌田浩毅

11:45-12:00

A23 噴出物からみた阿蘇火山中岳 2005 年 4 月 14 日噴火
宮縁育夫・池辺伸一郎・渡辺一徳

12:00-12:15

A24 桜島火山大正噴火の噴火様式とその時間変化
安井真也・高橋正樹・石原和弘・味喜大介

9:15-9:30

B02 ASTER による 2005 年福徳岡ノ場海底噴火の観測
浦井 稔

9:30-9:45

B03 阿蘇火山中岳の最近の火山活動について
須藤靖明・吉川 慎・井上寛之

9:45-10:00

B04 ニイラゴンゴ火山の溶岩湖活動の変遷 - 1910 年と 1920 年の写真からの推察 -
浜口博之

10:00-10:15

B05 インドネシア・スメル火山における噴火観測
井口正人・大倉敬宏・八木原寛・平林順一・
鬼澤真也・ムハマドヘンドラスト・
マスアチェブルバウィナタ 他 3 名

10:15-10:30

B06 フィリピン・タール火山における電磁気観測(序報)
笹井洋一・原田 誠・Alanis Paul・Sabit Julio・
Zlotnicki Jacques・長尾年恭・PHIVOLCS 観測班

休 憩 10:30-10:45

B 会場

火山の地殻変動(1)

座長: 上田英樹, 古屋正人

10:45-11:00

B07 噴火後地殻変動の解析的モデルとしての準静的熱弾性変形理論とその応用
古屋正人

11:00-11:15

B08 インドネシア、パツール火山における圧力源の推定
西前健一・OnyKurnia Suiganda・村瀬雅之・
木股文昭・藤井直之・Hasanuddin Z Abidin・
Heri Andreas 他 8 名

11:15-11:30

B09 小笠原硫黄島の 2001 年大規模地殻変動に伴う重力変化
鶴川元雄・藤田英輔・上田英樹・
野崎京三・岩本鋼司・森田広義

11:30-11:45

B10 精密水準測量から検出された神津島北東部におけるクリープ的変動
木股文昭・宮島力雄・村瀬雅之・仮屋新一・
大滝修一・山室友生・岡田純

11:45-12:00

B11 三宅島の傾斜計で観測された極超長周期振動
上田英樹・鶴川元雄・藤田英輔・山本英二

12:00-12:15

B12 伊豆大島の最近の地殻変動
村上 亮

A 会場

火山の地質・噴火年代(3)
座長: 中野 俊, 山野井勇太

13:30-13:45

A25 桜島火山の山頂噴火における火山灰の色
山野井勇太・竹内晋吾・奥村 聡・中嶋 悟・横山 正

13:45-14:00

A26 鬼界カルデラ 7.3 cal kyr BP 噴火 - 玄武岩質マグマと地
殻応力の役割 -
小林哲夫・奥野 充・成尾英仁

14:00-14:15

A27 鹿児島県トカラ列島北部の時代未詳火山(臥蛇島, 小臥
蛇島, 平瀬)
中野 俊・下司信夫

14:15-14:30

A28 信頼できる熱ルミネッセンス年代測定のための試料選択
高島 勲・エディ スチブタ

14:30-14:45

A29 インド半島北東部の原生代火山岩の ^{40}Ar - ^{39}Ar 年代測
定
瀧上 豊・酒井治孝・折橋裕二

14:45-15:00

A30 Cinder cones degradation for relative age dating in
Bajawa area, Flores, Indonesia
I G. B. Eddy Sucipta and I. Takashima

B 会場

火山の地殻変動(2)
座長: 藤原 智, 森 濟

13:30-13:45

B13 GPS 測量から推定した浅間山火口直下の圧力変動源 -
2004 年噴火前後の推移 -
及川 純・松島 健・河野裕希・
小山悦郎・辻 浩・大湊隆雄

13:45-14:00

B14 地殻変動から推定される 2004 年浅間山噴火前後の浅部
マグマ供給系
高木朗充・山本哲也・福井敬一・坂井孝行・上田義浩・
飯島 聖・藤原健治・瀧山弘明・菅野智之

14:00-14:15

B15 水準測量データから推定する浅間山の圧力源
村瀬雅之・小野幸治・太田雄策・西前健一・
飯屋新一・宮島力雄・木股文昭 他 7 名

14:15-14:30

B16 吾妻火山における絶対重力測定網の構築
植木貞人・大島弘光・前川徳光・吉田友香

14:30-14:45

B17 北海道駒ヶ岳の長期上下変動
森 濟

14:45-15:00

B18 精密 DEM を用いた地殻変動の時空間解析 - 有珠山での
試み(その2)
岡田 純

15:00-15:15

B19 干渉 SAR によって捉えられた屈斜路湖東岸の火山性地
殻変動
藤原 智・村上亮・西村卓也・飛田幹男・矢来博司

総 会 15:30~16:45

10月6日(木) ポスターセッション (P7~P37)

ポスター会場 コアタイム 16:45~17:45

P07 北海道十勝岳火山 1926 年噴火に伴う岩屑なだれ堆積
物中より発見された融雪水を噴出したパイプ状構造
上澤真平・宮地直道

P08 北海道南西部クッタラカルデラの周囲を取り巻く環状
構造: 先クッタラカルデラ?
畠山 信・佐々木央岳・鳥口能誠・後藤芳彦

P09 北海道南西部, 登別火山における最新の噴火; 日和山
- 大湯沼 - 裏地獄火口列で起きた水蒸気爆発
鳥口能誠・佐々木央岳・畠山 信・後藤芳彦

P10 北海道南西部登別火山, 日和山潜在ドームの形成史
佐々木央岳・鳥口能誠・畠山 信・後藤芳彦

P11 有珠山北東山麓の歴史時代地殻変動に関する調査
廣瀬 亘・大津 直・川上源太郎・岡崎紀俊・田近 淳

- | | |
|---|---|
| P12 北海道における完新世広域テフラの同定と層序
中村有吾 | P25 池田火砕流に伴うラグプレッチャーの側方変化
古林友恵・鎌田桂子 |
| P13 蔵王山、最近約 2,000 年間の噴出物について
三浦光太郎・伴 雅雄・佐藤 光・佐川日和 | P26 鹿児島県トカラ列島口之島火山の火山地質
下司信夫・中野 俊 |
| P14 日光火山群、男体火山の地質 1. 主に山頂火口内の
地質について
岡村裕子・石崎泰男・遠藤広基・内野匡貴 | P27 インドネシア、リンジャニ火山の 13 世紀カルデラ形成
噴火
古川竜太・高田 亮・Nasution A. |
| P15 霧ヶ峰火山の形成史とその特徴
及川輝樹・西来邦章 | P28 block-and-ash flow タイプの火砕流粒度分布と溶岩破
壊強
鎌田桂子・草野高志・山崎和仁 |
| P16 後期中新世隠岐島前岩脈群の産状・化学組成と卓越方
位
三浦大助・土志田潔・荒井健一・和知 剛・
橘川貴史・和田穰隆・千葉達朗 | P29 “On-screen Mode Counter” パソコン画面上で岩石
薄片のポイントカウントを行うプログラムの試作
佐々木実 |
| P17 後期中新統隠岐島前火山における岩脈群の化学組成と
その時間変化
土志田潔・三浦大助・橘川貴史・
荒井健一・和知 剛・千葉達朗 | P30 福岡岡ノ場海底火山 2005 年活動の概要
矢吹哲一郎・服部敏一・井上 渉・
宮崎 進・長野勝行・及川光弘・ 野上健治 |
| P18 5600 年前に雲仙火山、権現脇火砕サージに伴って薙ぎ
倒された木の痕跡
長岡信治・松末和之 | P31 最近 20 年間の北海道駒ヶ岳の火山活動について
宮村淳一・伏谷祐二・谷口貴康 |
| P19 雲仙火山 1991-95 年火砕流堆積物と 1792 年眉山岩屑
なだれ堆積物の堆積構造と流動堆積機構
宝田晋治・Melendez Christyanne | P32 有珠山の新山形成に伴う地殻変動の特徴
大島弘光 |
| P20 霧島・御鉢火山の山体形成過程
筒井正明・小林哲夫 | P33 水準測量からとらえられた 2000 年噴火後の有珠山の
沈降
吉田友香・大島弘光・前川徳光・鈴木敦生・青山 裕 |
| P21 霧島・中岳火山の噴火活動
筒井正明・ 小林哲夫・伊藤英之・前田昭浩 | P34 岩手火山, A P S 観測で検出された黒倉山付近の地殻
変動に関する一考察 - ミツ石山下の球状圧力源の
膨張に起因するクリープ性左横ずれ断層運動の発生
土井宣夫 |
| P22 霧島火山群におけるえびの高原周辺の活動史
田島靖久・松岡 暁・伊藤英之・
前田昭浩・小林哲夫 | P35 千々石カルデラと雲仙火山の活動
河野裕希・松島 健・清水 洋 |
| P23 大分県西部・中期更新世由布川火砕流の流動方向、及
びその噴出源
郡 守彦・榊原正幸 | P36 衛星搭載合成開口レーダーと光学センサーを用いた九
州地域の活火山周辺の地殻変動検出
小林茂樹・大倉 博・小池克明・木村 誠・橋本 学 |
| P24 黒曜岩片から見た鬼界アカホヤ噴火現象
藤原 誠 | P37 空振波源位置推定のための最短経路探索
横尾亮彦 |

10月7日(金) 午前

A 会場

火山の岩石学(1)

座長: 松本亜希子, 大場 司

09:00-09:15

A31 大雪火山, 御鉢平カルデラ噴出物に見られるマグマ混合
過程

佐藤鋭一・和田恵治

09:15-09:30

A32 大雪火山, 御鉢平カルデラに関する岩石学的研究

若佐寛子・中川光弘・斉藤 聡

B 会場

噴火のダイナミクス(1)

座長: 西村光史, 宮城磯治

09:00-09:15

B20 珪長質マグマ溜まりにおける結晶沈降と再平衡化の微量
元素組成変化モデル

西村光史・柴田知之・小林哲夫・竹村恵二

09:15-09:30

B21 カルデラ形成に必要なマグマ溜りの体積変化量と深さの
関係(その2)

楠本成寿・竹村恵二

09:30-09:45

A33 有珠火山歴史時代噴火のマグマ供給系の変遷
松本亜希子・中川光弘

09:45-10:00

A34 北海道駒ヶ岳火山・5500-6000 年前噴火の岩石学的特徴
-歴史時代噴火との比較-
宮坂瑞穂・中川光弘・高橋 良・吉本充宏

10:00-10:15

A35 東北北部火山フロント沿いの第四紀玄武岩にみられる斑
晶の起源
大場 司・木村祥之・石川弘真・藤巻宏和

10:15-10:30

A36 八幡平火山群恵比寿森における二段階マグマ混合と高マ
グネシア安山岩の生成
木村祥之・大場 司・藤巻宏和

休 憩 10:30-10:45

A 会場

火山の岩石学(2)

座長：山口珠美，伴 雅雄

10:45-11:00

A37 東北日本，白鷹火山のマグマ供給系 - Sr 同位体組成による
制約 -
廣谷志穂・伴 雅雄・中川光弘

11:00-11:15

A38 東北日本，砂子原カルデラの中期更新世パーアルミナス
流紋岩マグマの成因
山元孝広

11:15-11:30

A39 新白山火山におけるマグマ組成の時間変化
中塚妙子・酒寄淳史・林信太郎・東野外志男

11:30-11:45

A40 浅間火山 2004 年噴火におけるマグマ混合とその端成分
マグマ イオウに富むマフィックメルト包有物
山口珠美・清水翔太・山口佳昭・太田 靖

11:45-12:00

A41 伊豆大島火山の割れ目の噴火 - 噴出物から考えるマグマ
供給システム
林幸一郎，津久井雅志

12:00-12:15

A42 伊豆大島火山安永噴火噴出物の全岩化学組成
御園生裕介・高橋正樹・安井真也・林田啓資

12:15-12:30

A43 中部地方の主な火山の斑晶メルト包有物のイオウ濃度
- マフィックマグマによる大量のイオウ供給
山口佳昭・清水翔太・山口珠美・太田 靖

09:30-09:45

B22 岩脈貫入はマグマ供給をどのように制御できるか
高田 亮

09:45-10:00

B23 圧縮変形にともなう連続気泡泡沫の透気率変化：マグマ
脱ガスメカニズムの解明にむけて
宮城磯治・竹内普吾

10:00-10:15

B24 粘性流体中での気泡形成の理論的研究：気泡サイズ分布
の進化
山田 耕・榎森啓元・中澤 清

10:15-10:30

B25 気相・液相間の相対運動が噴火タイプの多様性に与える
効果：層流脱ガスと乱流脱ガスの違い
小園誠史・小屋口剛博

休 憩 10:30-10:45

B 会場

噴火のダイナミクス(2)

座長：萬年一剛，青山 裕

10:45-11:00

B26 マグマの脱ガスの原因となる浸透流の駆動力
井田 喜明

11:00-11:15

B27 衝撃波管における高粘性マグマの破砕に関する理論モデ
ル
小屋口剛博・三谷典子

11:15-11:30

B28 伊豆大島 1986 年 TB-2 テフラの全噴出物粒度組成 ~ 噴
煙モデルの適用による算出の試み~
萬年一剛

11:30-11:45

B29 3 次元数値モデルによる傘型噴煙形成のシミュレーショ
ン(1) 灰かぐらから成長する噴煙の不均質性と到達高
度
鈴木雄治郎・小屋口剛博

11:45-12:00

B30 浮力フラックスの変化が激しい乱流プリュームの 1 次元
解析とそれが示唆する火山噴煙の振る舞い
石峯康浩

12:00-12:15

B31 封圧下における浸透率・弾性波速度の同時測定 実験装
置の開発
清水悠太・渡辺 了・鏡味芳宏

12:15-12:30

B32 火山観測用 3 次元可視画像撮影装置開発の試案
青山 裕

10月7日(金) 午後

A 会場

火山の岩石学 (3) 座長：鈴木由希，柴田知之

13:30-13:45

A44 八丈島西山火山のマグマの分化からみた伊豆弧地殻の成長

津久井 雅志・奥 直樹・中野 俊

13:45-14:00

A45 西南日本弧におけるスラブメルティングの西南端

柴田知之・伊藤順一・氏家 治・竹村恵二

14:00-14:15

A46 珪長質メルトの減圧結晶化実験 - 噴火に際したマグマ上昇過程の物質科学的研究への示唆 -

鈴木由希, J.E.Gardner, J.F.Larsen

14:15-14:30

A47 2成分系シリケートメルトのエンタルピーの一般的特性

菅原 透

14:30-14:45

A48 The geochemistry and petrogenesis of Shona MORB

Marco Magnani, T. Fujii,
Y.Orihashi and A.Yasuda

14:45-15:00

A49 同位体比から推察される海洋地域におけるブルームとリソスフェア物質の相互作用

兼岡一郎

休憩 15:00-15:15

A 会場

火山化学

座長：篠原宏志，大和田道子

15:15-15:30

A50 小規模なストロンボリ式噴火に伴い放出される火山ガスの組成：Villarria 火山 (Chile)

篠原宏志・J.B.Witter

15:30-15:45

A51 小型紫外分光計を用いた火山ガス中のSO₂とH₂Sの同時測定

首藤知昭・森 俊哉・影澤博明・野津憲治

15:45-16:00

A52 浅間山 2004 年降下火山灰中のフッ素・塩素濃度

野上健治・鬼澤真也・平林順一

16:00-16:15

A53 薩摩硫黄島におけるSO₂放出量 - 紫外光の散乱効果によるSO₂放出量の減衰の見積もりと再計算 -

大和田道子・風早康平・篠原宏志

B 会場

火山の熱・電磁気 座長：寺田暁彦，長谷英彰

13:30-13:45

B33 噴煙活動の定量的な評価に向けた取り組み

飯野英樹・舟崎 淳

13:45-14:00

B34 航空機搭載型 MSS による火口内温度分布把握における噴気の影響を軽減する観測手法

實淵哲也・鶴川元雄

14:00-14:15

B35 御蔵島村火山・やすかじが森溶岩ドーム山頂で真冬に白煙を上げる噴気孔類似の穴

寺田暁彦・日野正幸・竹入啓司・鈴木敦生・橋本武志

14:15-14:30

B36 Electromagnetic Image of seismic LP resonator at Kusatsu-Shirane volcano

Nurhasan・小川康雄・氏原直人

14:30-14:45

B37 自然電位から推定される開聞岳の構造

長谷英彰・石戸経士・神田 径・森 真陽

休憩 14:45-15:00

B 会場

火山の地震

座長：為栗 健，中道治久

15:00-15:15

B38 稠密地震観測による富士山の3次元地震波速度構造

中道治久・渡辺秀文・大湊隆雄・
富士山自然地震観測グループ

15:15-15:30

B39 口永良部島火山の地震反射断面

筒井智樹・井口正人・山本圭吾

15:30-15:45

B40 三宅島の banded tremor

藤田英輔・鶴川元雄・上田英樹・山本英二

15:45-16:00

B41 阿蘇火山における長周期火山性微動の時間変化

池田さや香・大倉敬宏・山本 希・
金嶋 聡・川勝 均・高木憲朗

16:00-16:15

B42 火山性微動源の等方成分に関する考察 - 阿蘇火山長周期微動源を例にして -

山本 希

16:15-16:30

B43 桜島火山で発生するハーモニック微動のモーメントテンソル解析

為栗 健・井口正人・SukirMaryanto

16:15-16:30

A54 口永良部島における最近の火山ガス組成変化と噴気温度の連続観測

平林順一・野上健治・鬼澤真也・大場 武・井口正人・神田 径・大島弘光

16:30-16:45

A55 箱根山大涌谷の浅部火山熱水系

澤 毅・大場 武・平林順一

16:30-16:45

B44 空中爆発によって生じる空気振動と弾性体の干渉

新井隆太・市原美恵・綿田辰吾・大湊隆雄・武尾 実

10月7日(水) ポスターセッション (P38~P69)

ポスター会場 コアタイム 16:45~17:45

P38 北海道駒ヶ岳における成層マグマ溜りの変遷とマグマ系の現状

高橋 良・中川光弘・吉本充宏

P39 北海道南西部恵山火山噴出物の地球科学的特徴

西本潤平・中川光弘

P40 東北日本弧背弧側, 第四紀流紋岩単成火山の岩石学的特徴: 勝淵山火山・戸賀火山

石塚吉浩・吉村洋平・山元正継・石山大三・鹿野和彦・大口健志

P41 沼沢湖噴火(紀元前3400年)で噴出した2種類の本質デイサイト質軽石

石崎泰男・青野泰大

P42 浅間火山2004年噴火噴出物の鉱物粒径分布とマグマの結晶化過程

津金達郎・牧野州明・三宅康幸・高橋 康

P43 マグマ化学組成に対する地殻物質の混入の影響 北西九州北松浦玄武岩を例として

柵山徹也

P44 雲仙平成火道試料におけるマグマの脱ガス・結晶化過程

野口 聡・寅丸敦志・中田節也

P45 全岩化学組成から見た由布・鶴見火山群のマグマの起源について

杉本 健・柴田知之・竹村恵二

P46 サブリキダスでのマグマの粘性係数測定: 北西九州, 松浦地域のアルカリ玄武岩の場合

石橋秀巳・佐藤博明

P47 阿蘇火山, Aso-3 大規模火砕噴火におけるマグマの均質性・不均質性 - Sr・Nd・Pb 同位体組成および岩石学的特徴からの知見 -

井上和久・金子克哉・芳川雅子・柴田知之・小屋口剛博・古川邦之・鎌田浩毅

P48 未分化な島弧玄武岩マグマの結晶分化作用に及ぼす水と圧力の効果

浜田盛久・藤井敏嗣

P49 高圧ガスを用いた火山爆発模擬実験 - その2: スケール則 -

後藤章夫・古川 剛・小川俊広・佐宗章弘・谷口宏充

P50 減圧発泡したマグマのガス浸透率を支配する発泡組織

竹内晋吾・中嶋悟・東宮昭彦・篠原宏志

P51 気泡を含む流紋岩質メルトの変形実験

奥村 聡・中村美千彦

P52 火山ガラスからの水素抽出真空ラインの製作

中村美千彦・久利美和・柴崎正行

P53 二酸化硫黄放出量測定における紫外光路長の影響について

森 健彦・吉川 慎・風早康平・大和田道子・森 俊哉・首藤知昭・影澤博明

P54 携帯型センサーシステムによる火山噴煙中のH₂SおよびH₂濃度の測定

篠原宏志

P55 ポータブルSO₂計を用いた浅間火山のSO₂放出量観測(2)

風早康平・大和田道子・森 俊哉・首藤知昭・影澤博明・平林順一・鬼澤真也・森 健彦

P56 浅間山噴煙中の火山ガス化学組成の遠隔観測

森 俊哉・野津憲治

P57 火山ガス化学組成から推定される雲仙普賢岳マグマの脱ガス過程

大場 武・平林順一・野上健治・吉田 稔・日下部実

P58 阿蘇火山からの二酸化硫黄放出量

齊藤政城・松尾のり道・松島 健・清水 洋・福井理作・太田一也

P59 最近の桜島のSO₂放出量

影澤博明・風早康平・森 俊哉・首藤知昭・ベニテス ホセ・大和田道子・森 健彦・篠原宏志・平林順一

P60 インドネシアスメル火山におけるSO₂放出量観測

鬼澤真也・平林順一・井口正人・大倉敬宏・八木原寛・西 潔・インドネシア火山地質災害防災局

- P61 樽前火山山頂ドーム周辺における AMT 比抵抗探査
山谷祐介・橋本武志・鈴木敦生・
西田泰典・市原 寛・茂木 透・
渡辺朋典・渡邊法夫
- P62 物理探査(地中レーダー ,電気探査)による有珠山北麓の
火山性断層調査
田村 慎・岡崎紀俊・大津 直・
橋本武志・茂木 透
- P63 地表ソース型空中電磁探査による阿蘇火山の比抵抗構造
茂木 透・城森 明・城森信豪・東 義則・
総合空中探査研究グループ
- P64 霧島山御鉢および新燃岳における全磁力繰り返し観測
山本哲也・福井敬一・坂井孝行・
高木朗充・藤原健治
- P65 阿蘇・中岳における噴気の時間変動
鍵山恒臣・池辺伸一郎
- P66 ビデオカメラによる阿蘇火山の赤熱観測
齋藤武士・大倉敬宏・酒井 敏
- P67 三宅島カルデラ直下の地震の精密震源決定
上田英樹・藤田英輔・鶴川元雄・
山本英二・實淵哲也
- P68 2004 年口永良部島火山人工地震探査データを用いた
地震波減衰構造解析
山本圭吾・口永良部島火山人工地震探査グループ
- P69 2004 年浅間山爆発地震の Scaling 則と震源パラメータ
加藤幸司・宮村淳一・山里 平